

学校点描

花粉症が例年より早くそして量も多いという報道に、やや気分も落ち込む今日この頃です。

《M中学校》

NO.18

R6. 2. 20

担当：校長

第28回M上町書道展においてS・YさんがM上町長賞に、S・HさんがM上町教育委員会賞に、N・KさんがM商工会長賞に、K・TさんとS・RさんがM上町書道振興会賞に入賞しました。

1月28日（日）に、S庄地区ソフトテニスインドア選手権大会が開催され、男子の部で、S・M/S・Jペアが準優勝、K・S/K・GペアとS・T/T・Rペアが第3位に入賞しました。女子の部では、T・M/S・Aペアが第3位に入賞しました。

2月5日～3月1日まで、中央公民館1階入りロスペースにて、『アートプロジェクトM』の企画で3年生の絵画が展示されています。大ホール前には2年生74名がデザインしてくれた国民スポーツ大会全都道府県応援ののぼり旗が展示されています。ぜひ足を運んでご覧ください。

2月7日～8日に、長野県野沢温泉村で開催されました全国中学校スキー大女子クラシカルの部でO・Sさんが71位、フリーの部でO・Sさんが83位、O・Nさんが86位でした。この経験を生かせる場はまだ来年もあります。

現在の1年生が受験する2026年度の公立校入試から、前期・後期選抜を導入することがまりました。S庄北高、S庄南高は、2025年度入試から先行実施が可能になりました。1.2年生にとって、今後の入試情報の収集が大切になってきています。



最後のお弁当

2月5日に、M上町給食センター運営員の会議に小中学校の給食担当校長として出席しました。日頃食べている給食ですが、さまざまな工夫と努力で成り立っていることを知ります。

中学校の給食費は315円、当然、315円で一食分は賄いきれません。国や県、町の補助があつてのこの値段です。物価高に加えて、魚のメニューが出しづらくなってきたことが報告されました。温暖化のため、取れる魚の種類が変化してきたこと、欲しい魚が入手困難になっていることもこのような会議に出て初めて知ることです。さらに、豚肉や牛肉などを納めてくれる給食納入業者が減ったことで、単独の業者となり、そこに大きな負担がかからないよ



う、様々なメニューの工夫で乗り切っていることもわかりました。それでも、地元農協や商工会のご尽力もあり、椎茸、トマト、アスパラ、イワナなどM上町の名産が給食のメニューに出されます。小中生は、この地元の味をいつか必ず懐かしく思い出すはずです。

会議では、今年度の給食に鯉の甘露煮が出たことを、家に帰って子どもが話したというエピソードが紹介されました。鯉を食べるなんて知らなかった驚きを、家に帰って家族の食卓の話題にあがること、「それこそが地産地消ですね」と、参加者の方々がうなずきます。

わけあって、わたしは子ども二人の高校時代の毎日のお弁当を作ってきました。その当時は毎朝5時起きでしたね。長男には、1つでは足りないと、同じ中身の弁当を2つ作って持た

せました。長男と長女6年間の弁当修行でした。頼るものは、日本が誇る冷凍食品です。

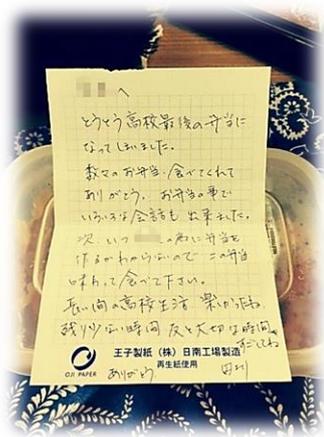
会が終わって、本校の佐藤母親委員長さんが「高校生になったら弁当になる」と隣のお母さんと話をしていました。わたしが、傍に寄って行って「男子高校生は、1日2個弁当必要ですよ」と余計な話します。「がんばらないと」と佐藤さんが返してくれました。

平凡なお弁当の話をひとつご紹介します。この話がわたしの弁当修行の支えでした。

高校生の時、私は毎日母にお弁当を作ってもらっていた。家族の中で一番早く起きて、家族の朝食と私のお弁当を毎日作るという事は、今思えば大変な作業であつたに違いない。それを文句のひとつも言わず、毎日作り続けてくれた母には頭の下がる思いである。

お弁当の中身は鮭や卵焼きなどが定番であるが、テレビ番組などでこの食材が健康にいいという情報を仕入れると、すぐさまその食材を使ったおかずが仲間入りし、次の健康にいいとされる食材がテレビ番組で紹介されるまで連日おかずの一員として加わるのであつた。だから今何が健康にいいと言われているのかは、テレビ番組を見なくても母の作ったお弁当を見れば、大体察しがついた。

またけんかをした時には、お弁当のふたを開けるのに少し勇気が必要だった。そういう時には必ず私の苦手なものが入っていたからだ。しかし、そんな時の私も意地があるため「何が何でも食べてやる。食べられないなんて弱みを見せてたまるものか」の精神のもときれいに完食してみせるのだった。そのおかげで苦手なものはほとんど無くなり、今となっては母に感謝している。



そして、高校のお弁当の最後の日。お弁当を開けるとそこにメモ紙が入っていた

どうどう高校最後の弁当になってしまいました。数々のお弁当、食べてくれてありがとう。お弁当のことでいろいろな会話も出来ました。次、いつ、あなたの為に弁当を作るかわからないので、この弁当味わって食べてください。長い間の高校生活楽しかったね。残り少ない時間、友と大切な時間を過ごしてね ありがとう 母より

メモ紙の裏に、「これまで全部おいしかった」と書いて空の弁当箱に入れた。

わたしもそうでした。親としてやりきった卒業は、最後のお弁当をつくり終えた日でした。

きりとりせん

ご意見・ご感想をお願いします。